

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテル京都二条 新築工事	階数	地上8F地下1F
建設地	京都府京都市中京区高倉橋町2-1-22(3-期、22-9-1、24、24-2、24-18、24-19、24-24)	構造	S造
用途地域	一種住居地域・商業地域、防火地域	平均居住人員	130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年9月28日
敷地面積	791.06 m ²	作成者	有限会社デルフィー級建築士事務所上土制昭
建築面積	617.15 m ²	確認日	2019年9月28日
延床面積	3,171.36 m ²	確認者	有限会社デルフィー級建築士事務所上土制昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	73%
④上記+	73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	2.0
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

機能性	2.4
耐用性	2.8
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

建物外皮の	4.4
自然エネ	N.A.
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化	4.0
地域環境	2.2
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	客室の昼光率3.4%、客室の天井高2.5m以上を確保し、利用者の快適性に配慮した。機能性においては防汚性の高い仕上げとするなど維持管理に配慮した。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー	[BPI _m] 0.86	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 削減率73%
Q2 サービス性能	主要な用途上位三種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される